

企001	項目名	シティセールス推進事業費(地方創生推進交付金活用事業)	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	169
年度	H30	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153		
款 総務費	【10次総の施策体系】2202		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 文書広報費	平成26年度より、本市の本質的な魅力(鳥取市らしさ)を全国へ浸透させ、鳥取市ブランドの構築を目的としたシティセールス事業を展開。平成28年度に大阪中之島に麒麟のまち関西情報発信拠点を整備し、平成29年度より本施設を拠点とした麒麟のまち圏域での広域連携によるシティセールス事業を展開。		
(単位:千円)	また、中長期的なシティセールスの指針となる「鳥取市シティセールス戦略」を策定し、本市のブランド化に資する事業を展開する。		
前年度当初予算額	64,056	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	88,741	麒麟のまち関西情報発信拠点において、麒麟のまち圏域での広域連携によるシティセールス事業を展開し、交流人口の増加、移住定住の促進、地元産品の販路拡大を図る。	
総務部長段階査定額	45,893	また、鳥取市シティセールス戦略に沿った事業を展開し、人や企業から選ばれるまち鳥取市を実現する。	
市長段階査定額	45,893	(目標数値)	
区分	本年度予算額	○市民愛着度 56.6%(H27)⇒60.0%(H32)	
国・県支出金	19,211	○市民サービス満足度 47.1%(H27)⇒60.0%(H32)	
地方債	0	○地域魅力度 225位(H28)⇒100位(H32)	
その他	2,200	○年間観光入込客数:301万人(H27)⇒320万人(H32)	
一般財源	24,482	○移住定住者数:2066人(H28)⇒3700人(H32)	
計	45,893	【事業の内容・実績】	
分担金	0	麒麟のまち関西情報発信拠点の施設管理運営及び本施設を拠点に各種プロモーション事業及びマスコミ・メディアへの情報発信を行う。	
負担金	0	また、鳥取市シティセールス戦略に沿った事業の推進を図る。	
使用料	0	(主な事業)	
手数料	0	○麒麟のまち関西情報発信拠点事業	
財産収入	0	○SQのあるまち推進事業	
寄付金	0	※その他財源の諸収入は、関西情報発信拠点収益金。	
繰入金	0		
雑収入	2,200		
その他	0		
行財政改革課処理欄			

企002	項目名	総合企画委員会費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	H30	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】創生戦略室 0857-20-3160		
款 総務費	【10次総の施策体系】5301		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 企画費	地方創生に取り組むため、平成27年度に「鳥取市人口ビジョン」及び「鳥取市創生総合戦略」を、また平成28年度を初年度とする「第10次鳥取市総合計画」を策定した。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	483	創生総合戦略、総合計画の着実な推進を図るための進行管理を行う。	
本年度要求額	600	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	600	(1)鳥取市総合企画委員会	
市長段階査定額	600	①条例で設置する附属機関。委員は、学識経験者、公募委員などで構成され、創生総合戦略、総合計画の進捗管理の審議等を行う。	
区分	本年度予算額	②委員数:20名	
国・県支出金	0	③任期:2年(平成29年1月~平成30年12月)	
地方債	0	(2)会議開催実績	
その他	0	平成28年度 年3回開催	
一般財源	600	(鳥取市人口ビジョン及び創生総合戦略、第10次鳥取市総合計画の評価・検証)	
計	600	平成29年度 年3回開催(予定)	
分担金	0	(鳥取市人口ビジョン及び創生総合戦略、第10次鳥取市総合計画の評価・検証)	
負担金	0	平成30年度 年3回開催(予定)	
使用料	0	(鳥取市人口ビジョン、創生総合戦略及び第10次鳥取市総合計画の評価・検証、後期実施計画の策定)	
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
雑収入	0		
その他	0		
行財政改革課処理欄			

企003	項目名	総合政策調査委託事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	H30	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153		
款 総務費	【10次総の施策体系】1102		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 市政の課題解決のためには、大学等の専門的な知識を有効活用しながら、広範な視点から分析・検討することが必要である。鳥取環境大学が平成13年4月に開学したのを契機に、学官連携を推進するため、総合政策調査委託事業を開始した。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 (1) 時代の変革に対応した鳥取市のまちづくりを推進するため、専門的な知識を有する大学と鳥取市が、本市の施策上の諸課題を調査研究し、今後の本市の事務・事業に反映させることを目的とする。 (2) 平成13年～29年までに計56の調査・研究が行われ、学官連携を推進している。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 ○公立鳥取環境大学・鳥取大学への調査研究委託事業 平成27年度 1,494千円 3事業 平成28年度 1,800千円 4事業 平成29年度 2,000千円 4事業(見込)		
前年度当初予算額	2,000	総務部長段階査定額	
本年度要求額	2,000	市長段階査定額	
総務部長段階査定額	2,000	区分	
市長段階査定額	2,000	本年度予算額	
区分	本年度予算額	財源内訳	
国・県支出金	0	国・県支出金	
地方債	0	地方債	
その他	0	その他	
一般財源	2,000	一般財源	
計	2,000	計	
行財政改革課処理欄			

企004	項目名	若者定住促進事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	H30	所 属 名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153		
款 総務費	【10次総の施策体系】1201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 人口減少が始まり、高齢化が進んでいる中、鳥取市が将来にわたってにぎわいのある都市として発展・継続していくためには、若者が活力を持って活躍するための条件整備が必要である。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 若者を対象とした「婚活」事業推進のため婚活サポートセンターを設置し、地域や企業、県等の他自治体と連携を図りながら、地域ぐるみでのサポート体制を構築していくことで、結婚による若者定住を促進し、地域の人口増加を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 <内 容> ○地域、企業等が実施する婚活イベントへのアドバイス事業 ○成婚記念品の提案、記念品カタログの作成 ○婚活に関する情報の広報 ○自治体・企業等とネットワークを構築し、連携事業を実施 <実 績> 「すごい!鳥取市」婚活サポートセンターの活動実績等 運営費 登録会員数 平成26年度 4,950千円 533人 平成27年度 7,236千円 1,081人 平成28年度 10,746千円 1,433人 平成29年度 13,652千円(見込) 1,412人(平成30年1月時点)		
前年度当初予算額	13,652	総務部長段階査定額	
本年度要求額	10,848	市長段階査定額	
総務部長段階査定額	10,200	区分	
市長段階査定額	10,200	本年度予算額	
区分	本年度予算額	財源内訳	
国・県支出金	5,100	国・県支出金	
地方債	0	地方債	
その他	0	その他	
一般財源	5,100	一般財源	
計	10,200	計	
行財政改革課処理欄			

企005	項目名	若者による地方創生政策推進事業費		新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175	所属名
年度	H30	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153			
款 総務費	【10次総の施策体系】3101			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	若者会議事業（平成18～27年度）を踏まえ、若者による政策提言だけでなく、地方創生に係る取り組みに若者が積極的に参画してもらう必要がある。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	554	鳥取市創生総合戦略の中の「若者の移住・定住の促進」に的を絞り、地方創生の主役となる若者の視点を大切にし、地方創生に係る施策の企画・立案・実施に、積極的に参画してもらう。		
本年度要求額	554	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	554	○会議は公募・推薦による若者メンバーを中心とし、政策企画課を事務局として、担当課とともに事業の企画・立案・実施にかかわる。		
市長段階査定額	554	○3年目となる平成30年度においても「若者の移住・定住の促進」をテーマに取り組みを進める。		
区分	本年度予算額	○任期を1年とし、再任は妨げない形でメンバーを認定する。		
国・県支出金	110	○年度末に成果発表会を行う。		
地方債	0	<会議開催実績>		
その他	0	平成28年度 18回開催		
一般財源	444	・社会人交流イベント、先進地視察、成果発表会		
計	554	平成29年度 20回開催（見込）		
		・バス企画、社会人交流イベント、中心市街地マップ制作、成果発表会		
行財政改革課処理欄				

企006	項目名	麒麟のまち創生推進事業費		新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175	所属名
年度	H30	企画推進部 政策企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153			
款 総務費	【10次総の施策体系】5201			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	鳥取県東部1市4町及び兵庫県香美町・新温泉町の1市6町（通称：麒麟のまち圏域）では、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域を活性化し経済を持続可能なものとし、圏域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするために、観光振興や移住促進等に広域的に連携し取り組んでいる。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	0	観光振興、移住促進等に広域的に連携し取り組むことで、圏域を活性化し経済を持続可能なものとする。		
本年度要求額	1,305	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	1,228	地方創生推進交付金等を活用し、観光振興・移住促進等の地方創生に資する取り組みを実施する。		
市長段階査定額	1,228	また、鳥取県東部4町と兵庫県新温泉町との1市5町で連携中枢都市圏を形成し、連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携事業を展開し、圏域の持続的発展を図る。		
区分	本年度予算額	○麒麟のまち創生戦略会議開催実績		
国・県支出金	0	平成27年度 2回開催		
地方債	0	平成28年度 4回開催		
その他	0	平成29年度 4回開催		
一般財源	1,228	○連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催実績		
計	1,228	平成29年度 2回開催		
行財政改革課処理欄				

企007	項目名	若者地域定着促進モデル事業費	新規事業
予算書項目	総合企画費	ページ	175
年度	H30	所属名	企画推進部 政策企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153		
款 総務費	【10次総の施策体系】1201		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 就学等により鳥取市外から一時的に居住している若者が、本市へ地域定着が進まない要因の一つとして、雇用事情以外に「地域と若者をつなぐ場が無く、地域への関心が不足している」ことがあげられている。 また、現在、多くの地方自治体で「空き家」の増加が課題となっており、本市でも同様の傾向にある。 この二つの課題について、「空き家」を活用して若者が地域で暮らし、地域活動へ参画の場づくりを支援することで若者と地域をつなぎ、「若者の地域定着」、「地域の活性化」、「空き家の有効活用」の課題解決を図る。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 地域や大学、民間事業者等が連携し空き家等を活用して行う、シェアハウス、ゲストハウス（以下「シェアハウス等」という。）の整備費用の一部を助成することで、若者の地域社会・地域課題に関わる場づくりを支援し、もって若者の地域定着促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 地域や大学、民間事業者等が連携し空き家等を活用して行う、シェアハウス等の整備費用等の一部を補助する。 (1) 計画策定事業 ・補助率 10/10 (県2/3、市1/3) ・補助上限 100千円 (2) シェアハウス等整備事業分 ・補助率 2/3 (県1/3、市1/3) ・補助上限 2,000千円 (3) 実績 ・平成29年度 5,767千円 (計画策定分2件、シェアハウス等整備事業分3件) (見込)		
前年度当初予算額	6,300	総務部長段階査定額	2,000
本年度要求額	2,100	市長段階査定額	2,000
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
国・県支出金	1,000	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	1,000	手数料	0
計	2,000	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

企008	項目名	環境大学運営費交付金	新規事業												
予算書項目	公立大学法人運営事業費	ページ	175												
年度	H30	所属名	企画推進部 政策企画課												
会計名	事業の概要														
一般会計	【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153														
款 総務費	【10次総の施策体系】1102														
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取県とともに共同設置した公立大学法人公立鳥取環境大学の運営経費の一部に充てるため、鳥取県と共同で大学運営費交付金及び大規模修繕等に係る施設整備費補助金を交付する。														
目 企画費	【事業の目的及び効果】 新生公立鳥取環境大学運営協議会を通じて大学の経営状態等をチェックし、必要な指示等を行うとともに、鳥取県とともに地方交付税の範囲内で大学運営費交付金及び施設整備費補助金を交付することにより、公立大学法人公立鳥取環境大学の安定的な運営を確保する。														
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 公立大学法人公立鳥取環境大学の運営に必要な経費の一部について、大学運営費交付金を交付する。また、運営費交付金で措置する運営経費とは別に、緊急かつ大規模な修繕等の経費について、施設整備費補助金を交付する。														
前年度当初予算額	521,086	総務部長段階査定額	516,745												
本年度要求額	542,026	市長段階査定額	516,745												
区分	本年度予算額	その他財源の内訳													
国・県支出金	0	分担金	0												
地方債	0	負担金	0												
その他	44,209	使用料	0												
一般財源	472,536	手数料	0												
計	516,745	財産収入	0												
		寄付金	0												
		繰入金	44,209												
		雑収入	0												
		その他	0												
行財政改革課処理欄	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>運営費交付金</td> <td>施設整備補助金</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>410,518千円</td> <td>74,117千円</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>512,399千円</td> <td>0千円 (運営費交付金に統一)</td> </tr> <tr> <td>平成29年度 (見込)</td> <td>469,532千円</td> <td>51,554千円</td> </tr> </table> <p>※その他財源の繰入金は、公共施設等整備基金繰入金。</p>				運営費交付金	施設整備補助金	平成27年度	410,518千円	74,117千円	平成28年度	512,399千円	0千円 (運営費交付金に統一)	平成29年度 (見込)	469,532千円	51,554千円
	運営費交付金	施設整備補助金													
平成27年度	410,518千円	74,117千円													
平成28年度	512,399千円	0千円 (運営費交付金に統一)													
平成29年度 (見込)	469,532千円	51,554千円													

企009	項目名	市報発刊配布費	新規事業
予算書項目	広報紙発刊配布費	ページ	169
年度	H30	所 属 名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-20-3159		
款 総務費	【10次総の施策体系】5101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 文書広報費	とっとり市報は、昭和27年1月に第1号を発刊し、平成30年4月に第1092号を発刊予定。現在は、インターネットやスマートフォンで市報が読める電子書籍版も配信。平成24年10月実施の市民アンケート調査によると、鳥取市の情報を市報から入手しているとの回答が85%と、最も重要な広報媒体となっている。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	60,234	本市の施策や市政に関する情報を、市民に的確に提供していく。	
本年度要求額	59,969	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	59,969	(1) 発行回数・・・市報:月1回1日発行 支所だより:市報に併せ発行	
市長段階査定額	59,969	(2) 発行部数・・・市報:65,500部 支所だより:15,200部	
区分	本年度予算額	(3) 規格・・・市報:A4判カラー32頁 支所だより:A4判二色刷り4頁	
国・県支出金	5,914	(4) 配布方法・・・搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。	
地方債	0	町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等で入手可。	
その他	0	商業施設への設置は、シルバー人材センターへ委託。	
一般財源	54,055	市報配布箇所数・・・町内会等:約1,230箇所	
計	59,969	市報設置箇所数・・・公共施設:約130箇所	
行財政改革課処理欄		商業施設:約60箇所	
		(5) 事業費・・・H27年度決算額 57,975,680円	
		H28年度決算額 57,416,264円	
		H29年度決算額 57,031,000円(見込)	
		【市民への情報提供のあり方検討会議】	
		平成25年度より、従来の搬送業者による搬送方法とは別に、商業施設等への設置を拡充し、市報が入手されやすい環境整備を行う取り組みを始めた。	

企010	項目名	市政広報費	新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	169
年度	H30	所 属 名	企画推進部 秘書課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-20-3159		
款 総務費	【10次総の施策体系】5101		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】		
目 文書広報費	市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアで情報提供を行うとともに、他都市との交流を促進するための広域的な情報発信も行う。		
(単位:千円)	平成24年10月実施の市民アンケート調査によると、鳥取市の情報を入手するメディアとして、新聞71.2%、テレビ64.7%、ケーブルテレビ20.9%、ラジオ11.9%となっている。		
前年度当初予算額	43,777	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	46,574	あらゆるメディアを活用して市政に関する情報提供を行うことにより、市民の情報接触度を高めていく。	
総務部長段階査定額	40,607	【事業の内容・実績】	
市長段階査定額	40,607	(1) ケーブルテレビ・・・行政情報番組:毎週金・土曜日に30分番組を1日20回、年50本放送他	
区分	本年度予算額	(2) 新聞・・・記事下広告:地元紙に年35段掲載	
国・県支出金	0	対談記事広告:市長対談記事を年1回掲載	
地方債	0	(3) テレビ・・・スポットCM:15秒CMを週3回放送	
その他	445	企画番組:30分番組を年1回、15分番組を年1回放送	
一般財源	40,162	(4) ラジオ・・・FM放送スポットCM:3分CMを毎週月・水・金1日2回放送他	
計	40,607	AM放送スポットCM:20秒CMを年55本放送	
行財政改革課処理欄		(5) 鳥取駅前地下道広告枠・・・市政情報や一般広告を掲出	
		(6) 事業費・・・H27年度決算額 44,740,143円	
		H28年度決算額 47,539,951円	
		H29年度決算額 43,777,000円(見込)	
		※その他財源の諸収入は、広告料収入。	

企011	項目名	鳥取市知名度アップ大作戦事業費		新規事業
予算書項目	市政広報費	ページ	169	所属名
年度	H30	企画推進部 秘書課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】広報室 0857-20-3159			
款 総務費	【10次総の施策体系】2202			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 鳥取自動車道の開通により、所要時間が大幅に短縮された関西圏と、大手マスコミが集まる首都圏に対して、本市の知名度を高め、観光客の増加、移住定住の促進、企業誘致等を図るため、戦略的広報を展開している。 平成25年度からは、戦略広報監とキャスター、平成26年度からはシティセールス担当を配置し、更にシティセールスに重点を置いた情報発信を行うこととした。			
目 文書広報費	【事業の目的及び効果】 これまで取り組んできた「すごい！鳥取市」キャンペーンを、「麒麟のまち」圏域まで広げ、圏域で連携した職・暮らし体験のプログラムなどを実施することにより、圏域全体のイメージ強化や来訪者の誘引を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 平成26年度から取り組んでいるイメージ戦略「すごい！鳥取市」というキャッチコピーを基に、「麒麟のまち」圏域が“魅力ある住みやすいまち”である認識を全国に浸透させるための情報発信を積極的に展開する。 事業費・・・H27年度決算額 25,801,679円 H28年度決算額 33,375,033円 H29年度決算額 23,591,000円(見込)			
前年度当初予算額	23,591	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。		
本年度要求額	28,627			
総務部長段階査定額	22,045	その他財源の内訳		
市長段階査定額	22,045	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	12,045	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
国・県支出金	5,000			
地方債	0			
その他	12,045			
一般財源	5,000			
計	22,045			
行財政改革課処理欄				

企012	項目名	鳥取世界おもちゃ館施設管理費		新規事業
予算書項目	鳥取世界おもちゃ館運営委託費等	ページ	175	所属名
年度	H30	企画推進部 文化交流課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-20-3226			
款 総務費	【10次総の施策体系】3301			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 指定管理者として、(公財)鳥取童謡・おもちゃ館に管理運営を委託している。施設設備は平成7年の開館から20年以上が経過し、老朽化が目立ってきている。			
目 企画費	【事業の目的及び効果】 童謡・おもちゃをテーマとした特色ある地域文化に資する施設として適切な管理を行う。共同設置者である鳥取県と連携して必要な修繕を行い、利用者が安心して利用できる施設とする。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額	90,543	(1) 指定管理料(鳥取市負担分)		
本年度要求額	88,144	平成27年度 73,713千円		
総務部長段階査定額	88,144	平成28年度 73,703千円		
市長段階査定額	88,144	平成29年度 73,694千円		
		(2) 修繕工事等		
		わらべ館は鳥取県・鳥取市の共同施設であるため、県・市各1/2の費用負担を行う。		
		総額 市負担額(1/2)		
		①火災報知器受信機更新 4,227,120円 2,113,560円		
		②昇降機(3号機)改修 16,097,400円 8,048,700円		
		③冷却塔・渦巻ポンプ整備及び給水ポンプ更新 5,744,520円 2,872,260円		
		④トイレ洋式化改修(1階部分:3箇所) 2,883,000円 1,441,500円		
区分	本年度予算額	【修繕実績】		
国・県支出金	0	平成27年度 総額 市負担額(1/2)		
地方債	0	平成27年度 事務室系統空調設備改修他 26,536千円 13,268千円		
その他	6,133	平成28年度 外壁劣化診断他 14,466千円 7,233千円		
一般財源	82,011	平成29年度(見込) 昇降機(1号機)改修他 30,883千円 15,442千円		
計	88,144	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金。		
行財政改革課処理欄				

企013	項目名	国際交流費	新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	175
年度	H30	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-20-3154		
款 総務費	【10次総の施策体系】3204		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市の国際交流は、姉妹都市をはじめとする多くの都市と経済・文化・教育などのさまざまな分野にわたっている。国際交流の促進にあたっては、特に、各国の駐日大使館や総領事館、国際親善団体、経済団体などとの連携が重要となっている。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 姉妹都市・交流都市などとの連絡調整、関係者受入及び市内国際交流団体の事業協力を行い、国際交流の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 ・姉妹都市・交流都市との連絡調整、受入等経費 420千円 ・[新規]日本人ブラジル移住110周年記念式典及びブラジル鳥取県人会創立65周年記念式典参加(旅費3名分他) 3,410千円		
前年度当初予算額	645	<実 績> 平成27年度 417千円 平成28年度 208千円 平成29年度(見込) 198千円	
本年度要求額	4,181		
総務部長段階査定額	3,830	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,830	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,830		
計	3,830		
行財政改革課処理欄			

企014	項目名	市民国際交流推進事業費	新規事業
予算書項目	国際交流促進費	ページ	175
年度	H30	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市交流係 0857-20-3154		
款 総務費	【10次総の施策体系】3204		
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 本市の姉妹都市および交流都市との交流を促進するため、市民が主体となって実施する相互交流事業を支援する。		
目 企画費	【事業の目的及び効果】 市民が主体となって実施する本市の姉妹都市および交流都市との交流事業を行う民間団体に対して補助金を交付し、幅広い草の根交流の裾野を広げ、交流の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 <内 容> 姉妹都市および交流都市などとの交流事業を行う民間団体に対し、補助金を交付する。 ・対象都市 1. 姉妹都市 韓国・清州市 ドイツ・ハーナウ市 中国・太倉市、オールドス市、延辺朝鮮族自治州 ロシア・ウラジオストク市 ブラジル鳥取県人会 環日本海拠点都市会議会員都市		
前年度当初予算額	1,100	<実 績> 平成27年度 2団体:ドイツ1、ブラジル1 平成28年度 4団体:ドイツ1、韓国3 平成29年度(見込) 2団体:韓国1、ドイツ1	
本年度要求額	2,100	※その他財源の繰入金は、人づくり・まちづくり基金繰入金。	
総務部長段階査定額	1,400	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,400	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	148
		贈収金	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	148		
一般財源	1,252		
計	1,400		
行財政改革課処理欄			

企015	項目名	文化芸術推進事業補助金	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	293
年度	H30	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-20-3226		
款 教育費	【10次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	本市の文化芸術振興を図るため、鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱に基づき、文化団体に助成する。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	10,934	文化芸術団体が実施する文化芸術に関する事業に必要な経費の一部を補助することにより、自主的な文化芸術活動の促進を図り、地域に根ざした創造的な文化芸術の振興とこころ豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。	
本年度要求額	9,934	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	9,934	イベント委託 ・ 童謡・唱歌100曲マラソン委託 900千円	
市長段階査定額	9,934	イベント補助	
区分	本年度予算額	・鳥の演劇祭11開催事業補助金 1,000千円	
国・県支出金	2,015	・菊花展開催補助金 280千円	
地方債	0	・市民音楽祭開催費補助金 400千円	
その他	0	・市民文化祭開催費補助金 1,800千円	
一般財源	7,919	・伝統芸能保存用具整備事業補助金 1,000千円	
計	9,934	・放談の会開催支援事業補助金 500千円	
分担金	0	・国民文化祭参加事業補助金 500千円	
負担金	0	・吉備真備杯囲碁大会開催事業費補助金 50千円	
使用料	0	・用瀬町 月を愛でる会 美術展開催費補助金 165千円	
手数料	0	・シルエット劇場公演補助金 1,180千円	
財産収入	0	・貝殻節全国大会開催補助金 200千円	
寄付金	0	・海外公演等開催補助金 200千円	
繰入金	0	・アートスタート活動支援事業補助金 850千円	
雑収入	0	・とっとり手踊り・手笠踊りの集い開催補助金 300千円	
その他	0	・元魚町1丁目芸術祭開催補助金 200千円	
		・鳥取JAZZ2018開催事業補助金 400千円	
行財政改革課処理欄			

企016	項目名	岡野貞一生誕140年記念事業費	新規事業
予算書項目	文化振興費	ページ	293
年度	H30	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-20-3226		
款 教育費	【10次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】		
目 文化振興費	鳥取市は、岡野貞一、永井幸次など優れた童謡・唱歌の音楽家を輩出している。その作品は現在でも全国で愛されており、市民の誇りであるとともに貴重な財産でもある。このように市民の心に深く根付いた童謡・唱歌の更なる普及啓発を通じ、文化振興の一層の促進を図る。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	0	平成30年に生誕140年を迎える音楽家「岡野貞一」を顕彰する「岡野貞一生誕140年記念事業」の実施のため、実施主体となる実行委員会の活動を支援する。	
本年度要求額	2,000	【事業の内容・実績】	
総務部長段階査定額	2,000	岡野貞一生誕140年記念事業補助金（鳥取県・市各1/2）として、実施主体（「童謡唱歌のふるさと鳥取」企画実行委員会）へ助成し、以下の顕彰事業を実施。	
市長段階査定額	2,000	全体事業費4,050千円 鳥取市補助金（1/2）2,000千円	
区分	本年度予算額	○メイン事業：岡野貞一生誕140年記念講演&コンサート	
国・県支出金	0	【日程】平成30年4月14日（土）	
地方債	0	【会場】とりぎん文化会館（梨花ホール）	
その他	0	【内容】講演：岡野貞一の生涯と功績（予定）（講師：わらべ館専門員）	
一般財源	2,000	コンサート：地元合唱団（小学校、少年少女等）の合唱、歌手のコーナー等	
計	2,000	○関連事業：特別展示	
分担金	0	【日程】平成30年4月7日（土）～4月30日（月）（予定）	
負担金	0	【会場】わらべ館1階 エントランスホール（無料ゾーン）	
使用料	0	【内容】岡野貞一の生涯がわかる解説パネルを作成するほか、岡野貞一の作品が掲載された楽譜集などの資料を展示	
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
雑収入	0		
その他	0		
行財政改革課処理欄			

企017	項目名	市民美術展開催費	新規事業	
予算書項目	市民美術展開催費	ページ	293	
年度	H30	所 属 名	企画推進部 文化交流課	
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-20-3226			
款 教育費	【10次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 市民美術展は、市民の文化芸術活動の成果を発表する場として、昭和37年より開催されてきた。以降、展示会場や開催部門に検討を加えながら今回で57回目を迎える。			
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 市民美術展は、幅広い市民の創作意欲の啓発を促し、よりすぐれた作品を展示することにより、鑑賞の場を提供することを目的としている。その運営・実施・審査にあたっては、専門的知識を要するため、各部門の代表的作家で組織する「鳥取市民美術展運営委員会」に事業委託を行っている。これにより、事業が円滑に遂行できるとともに、市民芸術のレベル向上、活性化並びに芸術文化活動参加者の拡大を図り、本市の文化発展に寄与するものである。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】			
前年度当初予算額	2,575	(1)委託先 鳥取市民美術展運営委員会		
本年度要求額	2,946	(2)部 門 日本画、洋画、書道、工芸、版画、彫刻、写真、デザイン、企画		
総務部長段階査定額	2,946	(3)会 場 鳥取県立博物館		
市長段階査定額	2,946	(4)会 期 平成30年5月13日～20日 8日間		
区分	本年度予算額	(5)出品資格 本市在住又は勤務者及び県東部在住者(中学生以上)		
国・県支出金	589	<実績>		
地方債	0	決算額	鑑賞者数	
その他	0	平成27年度	2,632千円	3,705人
一般財源	2,357	平成28年度	3,002千円	3,101人
計	2,946	平成29年度(見込)	6,408千円	1,998人
行財政改革課処理欄				

企018	項目名	日本遺産登録推進事業費	新規事業
予算書項目	日本遺産登録推進事業費	ページ	293
年度	H30	所 属 名	企画推進部 文化交流課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-20-3226		
款 教育費	【10次総の施策体系】3301		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 文化庁は、平成27年度から、地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」に認定する仕組みを新たに創設した。これを受け、鳥取県東部(香美町)と兵庫県北部(但馬)の1市6町(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町)に受け継がれる「麒麟獅子舞」を中核とするストーリーを作成し、平成29年2月に日本遺産申請を行ったが、認定とならず、平成30年度の認定を目指している。		
目 文化振興費	【事業の目的及び効果】 「麒麟獅子舞」を生かした日本遺産の認定により、1市6町に点在する文化財等を生かしたストーリーによるパッケージ化、一体的な整備・活用、国内外への戦略的な情報発信・普及啓発などの取り組みを行い、地域の活性化を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】		
前年度当初予算額	1,839	・日本遺産一文化庁協議・ヒアリング等	
本年度要求額	1,832	・日本遺産認定関連事業(PRチラシ、懸垂幕製作、セレモニー開催等)	
総務部長段階査定額	1,826		
市長段階査定額	1,826		
区分	本年度予算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,826		
計	1,826		
行財政改革課処理欄			

企019	項目名	麒麟獅子舞圏域活性化事業費	新規事業	○
予算書項目	麒麟獅子舞圏域活性化事業費	ページ	293	所属名
年度	H30	企画推進部 文化交流課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】文化芸術係 0857-20-3226			
款 教育費	【10次総の施策体系】3301			
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】			
目 文化振興費	「麒麟獅子舞」は鳥取県東部と兵庫県香美町、新温泉町の1市6町に受け継がれる貴重な伝統芸能であり、平成21年には「国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択された。			
(単位:千円)	また、文化庁が創設した「日本遺産」について、「麒麟獅子舞」を生かしたストーリー等を作成し、平成30年度の認定を目指している。			
前年度当初予算額	0	【事業の目的及び効果】		
本年度要求額	2,037	「麒麟獅子舞」が貴重な文化観光資源となることを再認識し、その魅力を圏域内外に広く情報発信・普及啓発する取り組みを積極的に展開することで、麒麟獅子舞の保存・継承による地域の活性化を図る。		
総務部長段階査定額	1,956	【事業の内容】		
市長段階査定額	1,956	・麒麟獅子舞写真等の巡回展示の開催		
区分	本年度予算額	・「麒麟展」実行委員会が実施する「鳥取と日光東照宮の絆-麒麟展-」を活用した麒麟獅子舞のPRなど		
財源内訳	国・県支出金 391	分担金 0		
地方債 0	地方債 0	負担金 0		
その他 0	その他 0	使用料 0		
一般財源 1,565	一般財源 1,565	手数料 0		
計 1,956	計 1,956	財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		雑収入 0		
		その他 0		
行財政改革課処理欄				

企020	項目名	学習・交流センター施設管理費	新規事業	
予算書項目	学習・交流センター施設管理費	ページ	175	所属名
年度	H30	企画推進部 文化交流課 国際交流プラザ		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】国際交流プラザ 0857-31-3253			
款 総務費	【10次総の施策体系】3204			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	平成9年4月1日に、国際交流プラザと湖山西地区公民館の複合施設として「学習・交流センター鳥取」がオープンし、施設管理等を国際交流プラザが行っている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	10,760	「学習・交流センター鳥取」の全般的な施設の維持管理等を行い、市民等がいつでも気軽に交流・学習等ができる場を提供する。		
本年度要求額	10,979	【事業の内容・実績】		
総務部長段階査定額	10,872	施設の維持管理		
市長段階査定額	10,872	・施設管理委託(清掃作業、建物警備、設備保守点検など)		
区分	本年度予算額	・光熱水費、修繕、維持管理経費等		
財源内訳	国・県支出金 0	<実績>		
地方債 0	地方債 0	H27年度 11,227千円 H28年度 10,559千円 H29年度 10,760千円(見込)		
その他 55	その他 55	※その他財源の諸収入は、自動販売機電気使用料。		
一般財源 10,817	一般財源 10,817			
計 10,872	計 10,872			
行財政改革課処理欄				